

東京言語研究所 集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学を研究されている方や言語学に興味をお持ちの方を対象に〈理論言語学講座〉をはじめとして様々な講座を開講しております。〈集中講義〉は、多様な研究の一領域を集中的に学べる講座です。ぜひご参加ください。

〈演題〉 言語研究のための統計学入門
—記述統計から分散分析まで—

〈講師〉 田嶋 圭一（法政大学教授）

〈日時〉 2024年9月14日(土) 10:30~16:15 (90分講義×3コマ)
15日(日) 10:30~16:15 (90分講義×3コマ)

〈講義形式〉 ZOOMによるオンライン講義

〈参加費〉 一般 12,000 円
2024年度理論言語学講座受講生 9,000 円
※事前振込制

〈申込み〉 ホームページ「[申込フォーム](#)」
またはQRコードからお申込ください。
※申込み受付期間：
8月9日(金)10:00AM~9月9日(月)10:00AM



講師紹介：

1968年東京都生まれ。米国インディアナ大学大学院にて言語学と認知科学のPh.D.を取得。ATR人間情報通信研究所客員研究員を経て、現在は法政大学文学部心理学科教授。専門は音声学、心理言語学。母語および外国語の音声の知覚・産出・学習に関する研究に従事。著書・論文に『音声学を学ぶ人のためのPraat入門』（共著、ひつじ書房、2017），“Non-native perception and learning of the phonemic length contrast in Japanese”（共著、*Journal of East Asian Linguistics*, 2013）などがある。

○ 問合せ先

一般財団法人ラボ国際交流センター 東京言語研究所
〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-3-21 ルーシッドスクエア新宿イースト 2 階
TEL:03-6233-0631 FAX:03-6233-0633
E-mail:tokyogengo@labo-global.co.jp 公式サイト:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

講義概要

最近、言語学の様々な研究分野において、データを統計的に解析し、その分析結果を論文や学会等で報告する発表が増えてきました。また、自分が集めたデータについても、分析において統計的な裏付けが求められるようになっていきます。しかし、数学があまり得意でないと感じる方からすると「統計学は難しい」という先入観があり、その重要性を認識しながらもなかなか習得するチャンスがないという方もいると思われます。本講義ではそのような方を想定して、統計学の基礎的な用語や概念の習得から始め、いくつかの基本的な分析がエクセルを使って自分で行えるようになることを目指します。具体的には、(1) 平均, 分散, 相関などの記述統計の基礎, (2) 母集団と標本, 仮説検定, 信頼区間などの推測統計の基礎をカバーしたあと, (3) t 検定, カイ二乗検定, 初歩的な分散分析などの分析手法を取り上げる予定です。

本講義ではエクセルを使った実習を行う予定です。エクセルの関数などを使って基本的な統計量などを自分で計算しながら概念の理解を深めてもらいたいと思います。さらに、分析ツールというエクセルのアドオンを使って t 検定などの初歩的な分析も行う予定です。基礎をしっかりと押さえておけば、より発展的な分析手法についても、その基本的な仕組みを理解し、必要に応じて専門書やマニュアルを見ながら実行できることが期待できます。多変量解析などの高度な統計解析を行うためには専用の統計ソフトが必要になりますが、本講義が完全オンラインかつ2日間のみの開講という制約に鑑み、専用のソフトを使った実習を積極的に盛り込むことはせず、講師による紹介に留めることを想定しています。また、統計を使った言語研究には大きく分けて実験研究とコーパス研究の2種類がありますが、本講義では担当講師の守備範囲である実験研究分野で頻繁に利用される統計手法を中心に取る予定です。

講義では以下の書籍を参照する予定です。

栗原 伸一 (2021). 『入門 統計学 (第2版) 検定から多変量解析・実験計画法・ベイズ統計学まで』 オーム社。

<タイムスケジュール> (予定) ※時間配分は講義の進行によって前後する場合があります。

9月14日(土)

10:30 講義—1
12:00 講義—1 終了休憩 昼食
13:00 講義—2
14:30 講義—2 終了 休憩
14:45 講義—3
16:15 講義—3 終了

9月15日(日)

10:30 講義—4
12:00 講義—4 終了休憩 昼食
13:00 講義—5
14:30 講義—5 終了 休憩
14:45 講義—6
16:15 講義—6 終了